

# 学校推薦型選抜

2024年度

生産デザイン学科

# プロダクト デザイン専攻



多摩美術大学

## 学科・専攻の特色

プロダクトデザイン専攻は長年にわたり、製品デザインの業界で国内に限らずグローバルに活躍し、けん引するデザイナーを数多く輩出しています。また、デザイン界のみならず、産業界でもネットワークを構築し活躍しています。プロダクトデザインの領域は今や製品の形や素材、色にとどまらず、人とモノとの関係が創り出す生活や、その生活を作る空間や社会などにも広がりを見せています。本専攻の教育プログラムもそれらの変化に対応し、ベーシックなスキルとなる“手”で考える美の追求から、多元的にモノゴトを見て考える力や、最新のコンピュータの活用力、国際人としてのコミュニケーション力、プレゼンテーションメソッドなどのアクティブラーニングを活用し、未来を担う個性豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

## 選抜方針

プロダクトデザイン専攻は、学校推薦型選抜をプレゼンテーション入学試験と位置づけ、受験生自らの創造を発表する場としています。選択Aの科目「アイデア/プロセス」は、文章でのアイデア説明に加えて、イラストや図式、漫画などを用いての紙面表現です。問題文を理解したうえでアイデア発想力を採点基準とします。選択Bの科目「スケッチ/デッサン」は、デザインスケッチや鉛筆デッサン、カラー描写などによる紙面表現です。問題文に応じた描写内容と表現力を採点基準とします。ともに初日に実技を行い、2日目にはそれら作品のプレゼンテーションを行います。なお、合否判定に用いるのは、選択A、Bともに出願時に提出する自己アピール文を含む「書類」と「実技試験」「プレゼンテーション面接」です。受験生の自由かつオリジナリティあふれる発想力や表現力に期待する新しい入学試験方法です。

## 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

授業での学習や課外活動・クラブ活動でのコミュニケーションスキルは、その後のプロダクトデザインの学びには大切な要素です。加えて次の3つを学習し、経験してください。1つ目は“自らの長所、特技に磨きをかけること”です。自己アピール文に記入できる自らの強みを作ってください。2つ目は“発表力”です。プレゼンテーション面接の際に、自らの作品の良さを力強く楽しく明るくプレゼンテーションしてください。3つ目は“人間力”です。そのモノを必要としている人の気持ちになり、思いやりのある提案を考えてください。そのためにも日常で気になる事は放置せずに考察する習慣を見に付け、問題解決のアイデアが考えられるといいですね。

## 学校推薦型選抜（学校長推薦が必要となります）

募集人員 : 20名（選考結果によって募集人員に満たない場合があります）

出願期間 : 2023年11月1日（水）～11月7日（火）[WEB出願のみ]

出願書類郵送 : 2023年11月1日（水）～11月7日（火）消印有効

出願資格 : 次の「1」「2」すべてに該当する者。

1. 出願学科を専願し、強く学ぶことを希望する者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる者。
2. 高等学校課程の出身学校長の推薦を受けることができる、次のいずれかに該当する者。
  - ① 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を2023年3月に卒業した者または2024年3月に卒業見込の者。
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022年4月1日から2024年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。
  - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を2023年3月に修了した者または2024年3月に修了見込の者。

※学校推薦型選抜と帰国生選抜の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できます。

## 試験科目・日程

※ 選択AもしくはBのいずれかを出願時に選択してください。

選択 A

11月18日（土） アイデア / プロセス [3 時間]

※ 文章でのアイデア説明、他にイラスト・図式などを使った紙面表現

11月19日（日） プレゼンテーション面接

※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

選択 B

11月18日（土） スケッチ / デッサン [3 時間]

※ デザインスケッチ・鉛筆デッサン・カラー描写などによる紙面表現

11月19日（日） プレゼンテーション面接

※ 上記で制作した作品を説明・アピールする

## 学校推薦型選抜 試験問題 選択A アイデア/プロセス

問題:

使用する人、場所、状況を考慮し「待ち時間を楽しむ」アイデアを考え、  
その際に使用する道具のデザインを指定用紙に記しなさい。

条件:

1. 指定のA3用紙1枚(左上枠内:タイトル/左中段枠内:文字による  
アイデア説明/左下から右半分:図式、チャート、イラスト、  
漫画<コマ漫画>等、自由に記述)に考えをまとめる。
2. 指定の提出するA3用紙1枚にて、アイデアの展開について、明日プレゼンテーションを行う。
3. アイデアメモ用紙(A4-3枚)も提出しなさい。
4. 記述の筆記具、画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、  
水を使用する画材は不可とする。

## 学校推薦型選抜 試験問題 選択B スケッチ/デッサン 〈支給モチーフあり〉

問題:

与えられたモチーフを自由に構成し、スケッチまたはデッサンしなさい。

条件:

1. 指定用紙(クレセントボード:B3)は縦横自由とする。
2. 提出の指定用紙1枚にて、描写内容について明日プレゼンテーションを行う。
3. 描写の画材は鉛筆(シャープペンシル含)、色鉛筆、サインペン、カラーマーカーとし、水を使用する画材は不可とする。

配布モチーフ: ノート(単行本ノート:無地) — 1冊  
サインペン: 赤 — 1本  
マグカップ: 白 — 1個



【選択A】



タイトルに書かれている「カラフルハーモニー」というタイトルワードが、退屈さを軽減するだけではなく楽しいシーン演出を表現しています。バス停というロケーションを設定した事での、造形イメージやフルーツのようなカラーリング、素材選定、仕上げに工夫が施されていることが評価されました。



「待ち時間を楽しく・・・」という設問に対して、渋滞中の車内と小さなお子さんのいる家族というシーン設定に、他の作品にないユニークな着眼点とオリジナリティを感じました。プロダクトとしてサイズやキャラクター、機能、カラーリングと全てにおいて、シーンが想定される作品です。

## 【選択B】



左：何か無重力空間に突如入り込んだかのようにモチーフの重量に従い、今まさに浮かき上がろうとしている瞬間を感じます。素材感やカラー表現、モチーフ同士の関わりからの陰影と細部までの緻密さが高く評価されました。短い制作時間でありながらも、この表現に至るまでの鍛錬に感心します。

右：モチーフ構成として、誰もが注目する一瞬のトラブルシーンを設定しており、その場に流れる時間までもが描写から感じ取れます。加えて、それぞれのモチーフがその状況であるが故に起こる事象や影響、変化、陰影等が巧みに構成されており、作者の日常的な高い観察力がうかがえる作品です。



マグカップに飲物を用意し、今から何かを書き出そうとしているという誰もが容易に想像するシーンを描いた作品。そこでのちょっとしたスピンの（紐）の動きや影の表現、ペンキャップでのページ押さえ、視線が集中するペン先の赤い色、等々の共感ポイントを見つけ出す観察力が評価されました。

## 入学前プログラムの実施



学校推薦型選抜合格者には、入学前プログラムとして鉛筆デッサンおよび色彩構成の制作を課しています。また3月には学校推薦型選抜合格者及び教授陣が参加する合同講評会を開催し、合格者それぞれに対しコメントやアドバイスを送り、入学に備えます。

## ■ 学生募集要項

7月中旬以降に本学ホームページで学生募集要項を公開する予定です。

出願手続きや出願書類、試験日の集合時間、持参用具などは必ず学校推薦型選抜の「学生募集要項」で確認してください。

## ■ お問い合わせ先

多摩美術大学 教務部入試課

TEL : 042-679-5602 e-mail : nyushi@tamabi.ac.jp

## ■ キャンパス所在地

多摩美術大学 八王子キャンパス

〒192-0394

東京都八王子市鎌水 2-1723

JR 横浜線・京王相模原線橋本駅北口から神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約 8 分。  
または、JR 八王子駅南口から京王バスで約 20 分。



多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻オリジナルサイト  
<http://www.tamabi.ac.jp/product/>

